

新しい熊本の住まい提案。

くまもと型新木造住宅 「郷の匠」

木をふんだんに使った、くまもと型新木造住宅「郷の匠」。今回は、そのモデルハウスを展示中の秋津レークタウンへ足を運びました。どの家も木の香りが心地良く、ママさんたちの熱い眼差しが注がれます。興味深い住まいの問題だけに、みんな真剣そのもの。案内役の御手洗木材流通対策室長に、いろんな質問を投げかけました。

ニーズに合った、しっかりしたものをお届けしなくてはいけないということなんです。

探険隊 どんな点に特徴があるんでしょうか。

——日本の気候・風土に育まれてきた伝統的な木造軸工法に、現代工法の利点を取り入れて開発しました。いわば「木造ルネッサンス」ともいうべきものです。柱の大きさや各部材の規格を統一したのも大きな特徴です。十分に乾燥した木材を使っていますから、建てた後のひずみが少ないという長所もあるんですよ。

探険隊 果産の安心ブランドという感じですね。それにしても、柱も大きいし天井も高い。本当に気持ちの良い造りですね。

——大きな柱は通気を良くし、部屋の断熱性を高める働きがあるんですよ。鴨居も1.85メートルとすい分高くなっていますから、背の高い人でも大丈夫ですね。

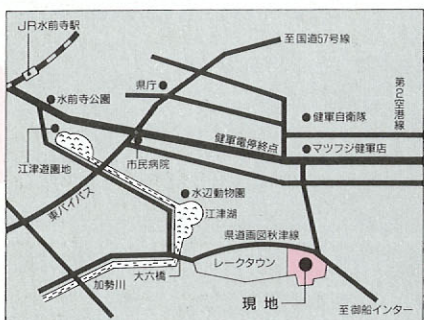
探険隊 頭をぶつける心配はないみたい(笑)。でも、木造だと腐りやすいとか燃えやすいというようないかな...

——そういった自然素材特有の欠点をカバーするために、加工がちゃんと施

目的は...。熊本県というのは、非常に木材資源の豊富な所ですね。これを有効に生かして、木材産業の育成を図り、併せて他の地産産業の振興につなげていきたい。このためには、消費者の方の

探険隊 なるほど。いろんな配慮が成されているんですね。今日は、木造住宅の良さを見直すいい機会でした。これから、この「郷の匠」が果の特産ブランドとして、広く全国に広がっていくといいですね。

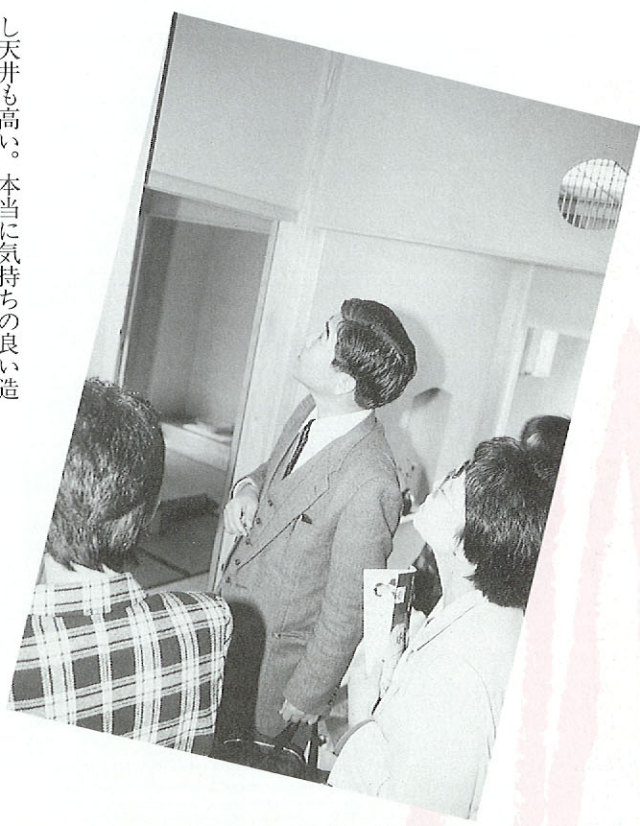
くまもと型新木造住宅 ママさん探険隊



してあるんですよ。今までの木材に比べて、使い勝手はずい分アップしているんですよ。それに、しっかりした造りの木造ですと、後々の間取りの変更が楽にできますから。長い目で見ても、絶対お得だと思います。鉄骨やコンクリートだと壊す以外に手がないわけですよ。

探険隊 これまでの家とは、かなり違いがあるみたいですが、お値段が高いのでは...?

——木材の値段だけみれば、少し高いかもしれませんがね。でも、木材の規格がキチンと決まっているため工期がグンと短縮されますから、トータルで見れば、決して高くはないと思いますよ。それに今、中間経費の節減や大幅な機械化などで、一層のコストダウンを目指しているところなんです。また、融資の面での特典などもあり、たいへん購入しやすくなっているんですよ。



県庁すっごい

県政情報の
キー・ステーション

県庁電算室



膨大な数の磁気テープが保管され、コンピュータの作動音が絶え間なく響く電算室。ここには県庁のあらゆる情報が蓄積されています。コンピュータを駆使し、財務会計をはじめ、行政事務の迅速な処理を支えています。